

74新破天荒



令和四年度版
創刊
第13号

一学年の集大成

二月になり学校の風景が変わります。三年生の大半が自由登校となり、一つのフロアから先輩の姿を目にしなくなる日が、一ヶ月ほどあります。

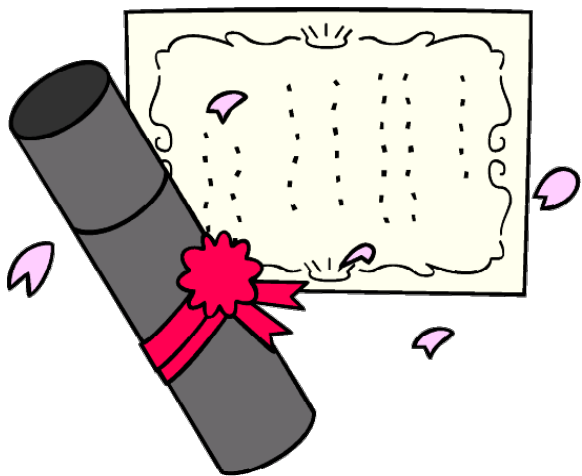
人生は、出会いと別れの繰り返しと言いつつ、少し寂しい一ヶ月となります。

一方で、七十四回生としては(七十四回生だけではないですが)とても大切な出来事がある一ヶ月です。それは何かというと、

- ① 学年末考査
- ② 令和五年度特色選抜入試
- ③ 七十二回生卒業式

などです。

学年末考査は、言わずと知れたこの一年の集大成です。勿論、学年末考査だけで一学年の成績が確定する訳ではありませんが、勢いをつけて次の学年をスタートするためにも、高いモチベーションを持ち、取り組んでほしいものです。



特色選抜入試は、本校の発展的統合発表後に実施される、初めての入学試験です。新しい取り組みに対する不安の中、受験を決めた理由の中に皆さんの普段の学校生活の姿もあるはずで、直属の後輩になる受験生に、夢と希望がさらに与えられるように、自分達の夢という鬼も追いかけてください。

卒業式は、当日の参加は叶いませんが、学校生活や部活動などを通じてお世話になった三年生に、感謝の気持ちや伝わるような準備をし、各々の責任を果たして、七十二回生には南高校生としての誇りを胸に卒業して頂けるよう、卒業式関連行事に臨んでほしいものです。

気が付けばこの一年。どんな

「高校生らしさ」

を身につけたと思いますか？二年先には、後輩達にどんなことを残せる先輩になっているでしょうか。ただ何となく過ぎ去った一年にするのは勿体ない。残された、一学年としての二ヶ月間を大切な時間にして下さい。

冬休み課題 「遠くを知りたい」

冬休み明けに行われた大学入学共通テストの時期に合わせて、「いま自分が目指す」ものではなくて、「未知を知る」機会として、全国の国公立大学調べを実施しました。

課題の縛りとしては、

- ① 広告チラシに準ずるものであること
- ② 兵庫県内でないこと
- ③ できれば 通学不可能であること
- ④ 大学だけでなく所在の都市も調べること
- ⑤ 編集後記をつけること

としました。

結果、そのクオリティはこちらの想像を大きく超えたものとなりました。

生徒の作品は、暫く校内に掲示させて頂きます。(ただし、国公立大学である条件を満たしたすべての作品)併せて、生徒にはグーグルクラスルームを通じて、情報共有ができるように配信する予定で、急ぎ整理して作成中です。宜しければ、生徒を通じて保護者の皆様も情報を共有していただければ、

「知らぬを知る」

良い機会になると思います。この経験はゴールではありません。「自分が何を手にするのか」、あくまでも今回は通過点です。

二月の予定

一日(水)	教育相談
十一日(土)	建国記念日
十五日(水)	特色選抜入試
	十四・十五日 生徒登校禁止
二十日(月)	特色選抜入試合格発表
二十一日(火)	学年末考査第一日目
二十二日(水)	学年末考査第二日目
二十三日(木)	学年末考査第三日目
(注意)	天皇誕生日の代休は三月十三日に
二十四日(金)	学年末考査第四日目
	卒業式準備 大掃除
二十七日(月)	学年末考査最終日 卒業式予行
二十八日(火)	卒業式

三月の予定

一日(水)	午前中授業(①②⑤⑥限)
七日(火)	球技大会 教育相談
八日(水)	大掃除(四限目)
十日(金)	複数志願選抜入試
	九〜十二日午前まで 生徒登校禁止
十三日(月)	生徒休業日
	(二月二十三日分代休)
十四日(火)	教育相談
二十日(月)	バリアフリー体験
	防災避難訓練
二十二日(水)	写真撮影・教科書販売
二十三日(木)	終業式

七十四回生の活躍

三学期早々の一月十二(木)～十五日(日)に、第三十九回西播高校美術展が開催されました。場所はイーグレ姫路でした。

私にはあまり縁のない世界でしたが、西播地区の高校生の頑張りに触れることができたのは、この歳になってもありがたい限りです。美術部、特に一年生の皆さん、ありがとうございます。

さて、出展の作品ですが、「タコ」とのことでした。お正月の折、干支の「卯」でも描いた「凧」と思い駆けつけましたが、「落ち」は左の写真です。言葉は面白く、奥が深い。まだまだ勉強です。



少しでも、仲間に
入れて
もらいました

その裏で

一月十四日(土)、十五日(日)の二日間にわたり、二〇二三年度大学入学共通テストが実施されました。本校三年生は、兵庫県立大学工学部と姫路独協大学の二会場で受験をしました。

二年後には、皆さんの番です。情報が必修科目になり、数学も選択問題の幅が広がるなど、教育課程の変更後初の共通テストとなります。

「自分達には関係がない」と思っている生徒の皆さん、保護者の方もいらつしやるでしょう。ただ、七十四回生の受験に関する情報は、共通テスト科目の概要がようやく発表された程度で、こと推薦入試の条件や受験科目等を公表するまでには至っていません。

私学、専門学校とも、他学の様子見というところかもしれません。受験する側に見れば対応に苦慮しますね。準備させる側としては、姫路南高校に対して地域が期待する声をベースにして、日々の取り組みをしていくしかありません。勿論、生徒の皆さん、保護者の皆様の思いも含めてですが、あるところで、「多くを期待しないで」と、生徒が発信していたケースもあるようですが、皆さんは今、自分の進路に対して、

どんなゴール

をイメージしていますか？

- ・卒業後の行先
- ・就職したい職種の獲得
- ・なりたい職種でこんな仕事を成し遂げたい
- ・なるようになる

こんな感じですか。あなたは、どれに当てはまるのでしょうか。

皆さんの多くは、まだ自分の可能性、その可能性をくすぐる努力の方法に触れてはいません。もしかしたら、私達も高校生だった頃には、当時の先生方から同じように自分たちのことを見られていたかもしれませぬ。

自分の未来を安く見積もらず、目先の安易な着地点を求めず利根的な判断に陥らぬよう、皆さんにも先ずは足元を固めて、自分の可能性をしっかりと掘り起こしてください。

冬休みに、先述の「遠くを知りたい」と銘打った国公立大学調べ学習は、あくまでも、自分の「目指す道」を深く考えるきっかけにしましょう。近いうちに、今度は「なりたい自分、行きたい進路先」の調べ学習を行いたいと思います。

強い想い・決意・覚悟

を持って次の学年に進み、二年先には「自分のための新たなスタート」を切ることができるようにすることが、私達七十四回生学年団の使命であると考えています。

そのためには、良好な学びの環境が与えられる、全国の国公立大学に先ずは目を向けてもらいました。加えて、関西有名私立大学等の受験も利用できる

七十四回生大学入学共通テストの受験者数を

一一〇〇～一五〇〇

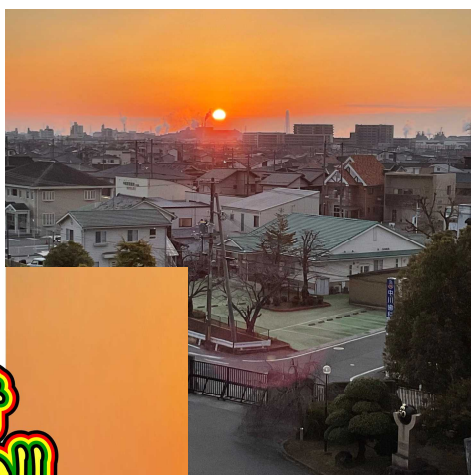
に目標を置き、これからの二年間皆さんと過ごして行きたいと思えます。勿論、受験させることが目的ではありません。

その先に

皆さんのゴールではなく、新たなスタートラインに立つことを目標に、皆さんとの高校三年間が、将来の可能性を拓けるきっかけとなる時間になるよう、皆さんとの時間を共有をしたいと思えます。

改めて伝えますが、皆さんに過大評価をしているつもりはありません。ただ、自分の可能性に気付いてもらいたい。そのためには、挑戦し、跳ね返され、悩み、乗り越えていく経験が必要です。

一年のうちで、そう何度も考えるタイミングはありません。自分と向き合う機会にしましょう。



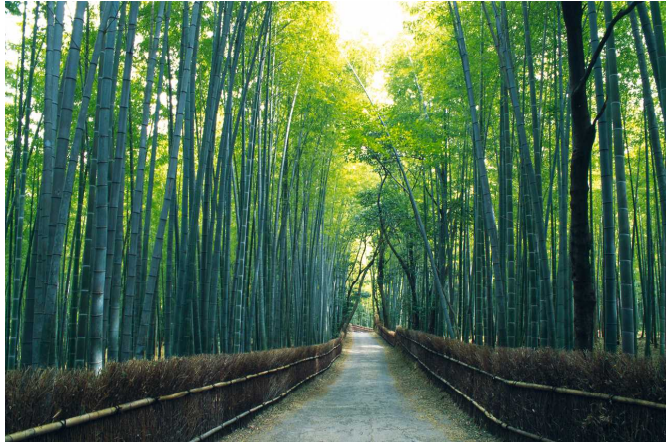
**Fight!
For Oneself
& One'sLife!!**

先輩が伝えてくれたこと

年が明けてからの出会いのなかで、今の高校生、特に、姫路南高校生には非伝えてやっておきたいと、頂いたお話を学年通信の中で発信したいと思います。私には縁がありますが、皆さんと深い縁がある訳ではありませんが、共通する職業、姫路南高校近隣で働いているなど、不思議な縁で姫路南高校と結びついた先達です。将来、皆さんにも不思議な

「縁」

で繋がっていくことの、世の中の不思議さ、面白さを感じてもらえればと思います。



看護師

〜特に助産師の資格を希望する人へ〜

助産師の資格が取れると謳っている大学は何処もそうだと思いますが、希望すれば取れる訳ではなく、看護師資格の取得が基本で、かつ、学校側の基準を満たす成績を修めた者が、助産師資格を取得できる講義受講が認められ、その中で単位認定を受けた者が国家試験受験が認められるということ強く理解してほしいものです。

もちろん資格取得も目指して努力し、大学合格を勝ち取りましたが、実際の学びの場面では、相当の覚悟と時間の犠牲をしなければ、国家試験どころか学びのステージにさえ立てません。特に、助産師の資格については、ほとんどの学生が大学院進学後の学びにより、取得まで辿り着いているのが実情です。確かに、現場で産婦人科の看護師として、出産の

場面に立ち会ったりしたときには、助産師に認められる行為を羨ましく思うこともあります。学生時代の日々の学びの中で、看護師を目指すこと、助産師も目指すことの覚悟をどれだけ持つことができているか、あるいはその覚悟が持てたとしても、大学院での学びの時間の犠牲を自分に課すことができるか、今もって自分に問うことも多いです。

ただ、学部生の間には看護師と保健師取得を目指すことは、簡単ではないですが、助産師取得を目指すことに比べれば可能です。

新型コロナウイルス感染症との共存等、まだまだ難しい時期ではあるけれども、医療看護の現場で、これから自分の選択に後悔がないように頑張ります。

皆さんも、進学がゴールではなく、医療の現場でどんな力を発揮したいのか、学生時代、職に就いてからも、自分と向き合い、やり甲斐を持ち続ける看護師を目指してください。

徳島大学医学部保健学科看護学専攻卒

二十八歳

いまの姫路南高校生諸君

〜老婆心ながら〜

今を去ること約三〇年。

当時の姫路南高校生は、真面目。言われたことには恐ろしく従順。潜在能力も高く、鍛えればどんな成果を生み出してくる集団なのだろうかと感じていました。

一方、生徒の自主性を期待して、「どう考えてみる？こんなのをやってみない？」と、プラスアルファの課題を与えたり、思考・試行により、自分の未知の世界で藻掻かせようとする、途端に動きが固まる。そんな中で、「目の前の失敗から、将来の成功を得ることをさせたいと、あの手この手を打とうとしたことを思い出します。

部活動での全国大会等での活躍は、硬式野球部、バレーボール部、陸上競技部・弓道部など、チーム、個人ともに、教え上げればきりがありません。

また、数年前から卒業生の芸能での活躍は、勉強だけでなく様々な才能を持ち合わせた集団であることを理解してもらえらると思います。

さて、私が相对した姫路南高校生からみて三〇年後の皆さんは、将来の自分の姿に見えていますか？高校生活の基本である、勉学での自己鍛錬や、将来の夢に、自らの可能性を広げる感覚を持ち合わせているでしょうか？

眠らせている自分への欲を目覚めさせてあげてください。先生方、先輩の叱咤激励は、皆さんが気付いていない可能性を発見させたいがためのものです。

「昔も今も」なのか、「今どきは」なのか。未来に向かって、「目の前」の失敗を恐れずに、この難しい時代の中で、持つべき本当の自分の姿が出せるよう、

「今の」

南高校生諸君も応援しています。

県立姫路南高等学校元教員

七〇歳を過ぎた我が恩師より

薬剤師を目指す皆さんへ

大学入学試験の際は、日々の努力の積み重ねが認められ、指定校選抜入試を利用することができた為、学科試験を免除されました。しかし、「薬剤師になりたい」という想いは強かったけれども、「なつてどうしたい」という深い考えを持つことに疎かったので、志望理由を仕上げる際に深みがなかなか出すことができず、面接についても、自分の想い、自分の言葉を用いて表現することが簡単なものではありませんでした。

入学後、講義や知識は簡単ではなかったですが、こちらは日々コツコツと取り組んでおけば、そう困難に感じることは少なかったです。職業に対する責任感を育てるには、日々の積み重ねは役に立ったと思います。振り返れば、国家試験の方が大学入試の際に考えた志望理由を深めることより、取り組み易かった気がします。

今は、姫路南高校に程近い薬局で、薬剤師としてお客様、ではなく、患者様に寄り添いながら、責任を持って仕事に邁進しています。

「なりたい」から「何をしたい」、「何ができる」、「何をすれば」……。たかが調剤ではなく、調剤を通じて患者様の未来と繋がっていくことのやり甲斐を持ちながら、経験値をしっかりと積み上げたいと思います。

就実大学薬学部薬学科卒

二十五歳

今月の 。。。。の勧め

五月	「無駄」
六月	「諦めない」
七月	「捨てる」
一学期末	「チャレンジ」
九月	「さかのぼる」
十月	「テレビ」
十一月	「大空間」
十二月	「無」
二学期末	「こだわり」
一月	「信念」
二月	「探る」

齢を経るにつれ、年齢のギャップからくるものか、
 つい「考えてみよう」の時間が与えられなくなり、
 「こうやな」と直球の話をすることが増えました。
 経験値は、「こうすればこうなる」ことを増やし、
 一方で、一歩前で待つ時間を惜しむようになります。
 「無駄」の勧めから始まったこのシリーズも、月
 日とともに、気付けば「こうだよね」という命令系
 の発信になっていくかもしれません。
 なので、今回は掘り「探ってみる」ことを勧めて
 みようと思います。自分自身には、「こうあるべきだ」
 と思うことに対して、「何故それがいい？」と思うの
 かを掘り下げると、自分が思うことをどう活かすか
 を探ろうとします。そこからさらに進んだ場所で、
 次の選択肢を「探る」ことができます。費やす時間
 は増えますが、その分だけ物語の数が増えているの
 も事実。齢を取ったから、そんな時間が楽しく思っ
 のでしょうか。



私に数多くの勇気を与える卒業生達も、寄る年波
 のタイミングに差し掛かっているようです。年賀の
 中身も、先生に対して「頑張る」という自分を励ま
 す文章から、生活、周囲に対する愚痴を、つらつら
 と書いていくものが増えた気がします。何かを付け
 足さねばと思うと、つい前向きな言葉が出しづら
 くなっていくのかもしれないですね。

次年度の年賀には、「もうそろそろ」と思う人は、
 その旨を知らせてほしいという一文を、入れようと
 思います。

ただ、傾向として高校時代に横着で、斜に構えて
 いた者ほど、その頃と反比例して、書いていること
 の内容が具体性とエネルギーを伴い、次号が楽し
 みであるものが多いです。どういう想いで、年々心
 境を具体化して伝えてくれているのか。仕事を任せ
 て分かる「気付き」と、思考・試行・悩み・達成
 感からくる「充実」によるものだと思いつつ、改め
 て「妥協」してしまっている自分のやる気のツボを
 「探り」ながら仕事を全うしなければ、と思う今月
 でした。

皆さんも、「妥協」のツボを探ってみては、くすぐ
 り、自分の可能性を拓ける日々を楽しみませんか？

Topics

散歩道 74 クラスコード 5luczkw
 Start 23 → 2022 last 36
 2023 start 38 → Now 46

HR教室に二冊の本を配置します。

・なぜ僕らは働くのか

池上 彰 監修

(GAKKEN)

・これから大人になる君たちへ

池上 彰 監修

(KADOKAWA)

「働くとは？」を考える、機会にしてみたい
 と思います。

修学旅行日程変更について

次年度も、成人の日が第二月曜日で祝日となつた
 ため、一月九日(火)が三学期始業式となるので、
 諸々の懸案事項を解決した結果、二週スライドして
 令和六年一月二十三日(火)～二十六日(金)での
 実施となりました。

予定をすでに組まれていたご家庭、部活動で新人
 大会を控えている部については、迷惑をかけます。
 学校行事へのご配慮を頂きますよう、宜しくお願
 います。

スタディサプリの活用

出席停止等での欠席を余儀なくされて、リモート
 授業等配信のリクエストもあります。学校の授業を
 大切にする姿勢を示して頂けることは非常に有難
 いことです。

一方、スマホ等の媒体で視野の狭い画面での対応
 は、大きなストレスを抱えることも事実です。

さて、四月当初に多数のご家庭が希望し、契約を
 して頂いたスタディサプリアですが、使用状況はど
 うですか？自学・振り返り・復習に活かせる教材を、
 自分に与えられた時間の有効活用と考えて、自分の
 計画で学習することも覚えてもらいたいと思います。
 そのうえで、授業とリンクする内容で自ら確認した
 いことを具体化し、私達教師に質問をして頂けると、
 生徒の主体性をより活かせる学びになると思います。

さあ、一学年の集大成。学年末考査に向けて、今
 の自分に妥協することなく、肅々と自分の力を発揮
 する準備を進めていきましょう。